



第 9 4 期 報 告 書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



DIJET®



ダイジェット工業株式会社

証券コード：6138

●株主の皆様へ



代表取締役社長 生悦住 歩

株主の皆様には、平素は格別のご支援を賜り、ありがたく厚くお礼申しあげます。

さて、ここに、当社第94期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申しあげます。

2020年6月

事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、長期化した米中間の貿易摩擦等の影響による外需の低迷により生産や輸出が弱含みで推移し、年度終盤にかけては新型コロナウイルス感染症の世界的流行により大幅に下押しされており、先行きは極めて不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、切削工具ではソリッドボールエンドミル「ハード1ボール」や「5軸加工用工具シリーズ」として高精度刃先交換式バレル工具「ミラーバレル」およびソリッドモジュラーヘッド「チューリップSヘッド」をはじめとする22種類の新製品を発売するなど販売の拡大に努めました。また国内ではMECT2019、国外ではEMO Hannover 2019等の展示会に出展し、新製品の市場への浸透を図るとともにお客様の加工改善につながる高能率、高生産性の工具を提案してまいりました。

耐摩耗工具では、MF-TOKYO2019に初出展する等、当社が注力しておりますレアメタル不使用の硬質金型新材料「サーメタル・CT500シリーズ」の新規業界での採用や用途開発に積極的に取り組むとともに、成形金型の新規開拓にも取り組んでまいりました。

連結売上高は、前年同期比9.5%減の9,046百万円となりました。このうち国内販売は前年同期比8.2%減の5,240百万円となり、輸出は同11.3%減の3,806百万円となりました。輸出の地域別では、北米向けが前年同期比1.6%減の861百万円、欧州向けが同13.6%減の1,018百万円、アジア向けが同13.1%減の1,874百万円、その他地域向けが同31.6%減の52百万円となり、この結果、連結売上高に占める輸出の割合は、前年同期に比べ0.8ポイント低下し42.1%となりました。

製品別では、焼肌チップが前年同期比26.6%減の880百万円、切削工具が同5.1%減の6,920百万円、耐摩耗工具が同16.0%減の1,232百万円となりました。

収益面では、売上高が大幅に減少したこと等により、連結営業利益は前年同期比52.8%減の213百万円となり、経常利益は同56.0%減の236百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同61.1%減の158百万円となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、当期の業績および今後の厳しい経営環境等を総合的に勘案し、当初の予定より1株当たり15円減額して1株につき、15円とさせていただきます。

今後の見通し

わが国産業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、海外では依然として世界経済の停滞が継続するなか、国内においても緊急事態宣言が発令され、大規模展示会の中止や通常営業活動の停止、事業活動の自粛要請等が引き続き見込まれ、先行きは極めて不透明な状況にあります。

当社グループといたしましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組みとして、テレワークをはじめ、当社WEBサイトを含めた各種メディアや販売店網を通じた新製品情報等の発信により販売活動を行うとともに、時差出勤や交替勤務などの柔軟な勤務態勢により生産活動を継続し、多くのお客様の生産性向上のニーズにお応えすべく、引き続き事業活動を行ってまいります。

また、今後新型コロナウイルス感染症が収束に向かった際に、より収益性が高く、効率的な事業活動が始動できるように、以下の取組みについても継続してまいります。全社を挙げて、営業・技術・製造が一体となり、得意商品の受注生産体制の確立に取り組むとともに、国内においては、得意商品を創造・育成できる国内販売体制への転換を目指しつつ拡販につとめ、海外においては、本社との連携強化を図り、持続可能な世界販売体制を構築してまいります。

また、資源相場や為替等の変動による原材料価格や原価の上昇リスクに対しては、原価およびアワーレートの低減に取り組み、生産性改革を推進して収益性の向上につとめてまいります。

新製品開発につきましては、市場およびユーザーニーズに応じた提案型商品、革新的なオリジナル商品およびコア商品の開発を推進し、新材種や新技術を用いた高付加価値製品の開発にも注力してまいります。

人材育成につきましては、新人事評価制度を導入し、人材の成長およびモチベーションの向上を図るとともに、働き方改革および健康経営を推進し、生産性の向上と労働環境の整備につとめてまいります。

さらに、企業の社会的責任を自覚し、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図り、コンプライアンス体制の整備および運用につとめるとともに、大規模自然災害への対策を推進し、環境保全活動および社会貢献にも引き続き取り組んでまいります。

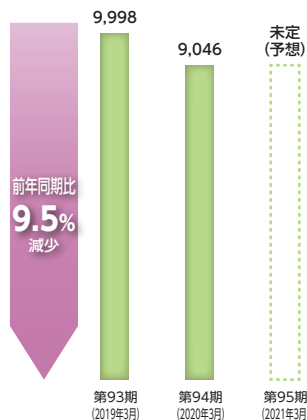
当社グループの第95期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算出することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階ですみやかに公表いたします。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 連結決算ハイライト

▶ 売上高

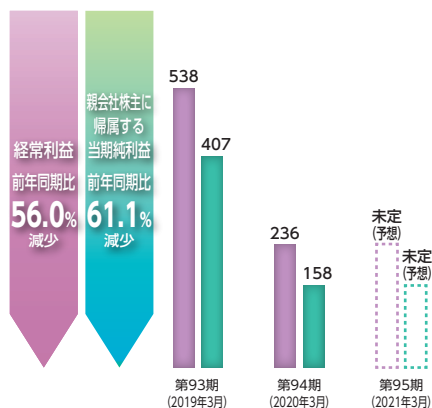
(百万円)



▶ 経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

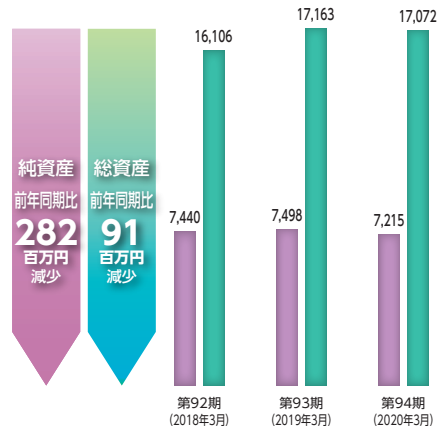
■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



▶ 純資産／総資産

(百万円)

■ 純資産 ■ 総資産



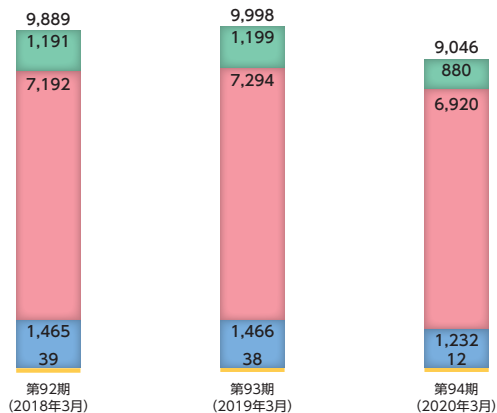
(注) 2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算出することが困難であることから未定としております。

■ 売上高の推移

▶ (1) 製品別売上高

(百万円)

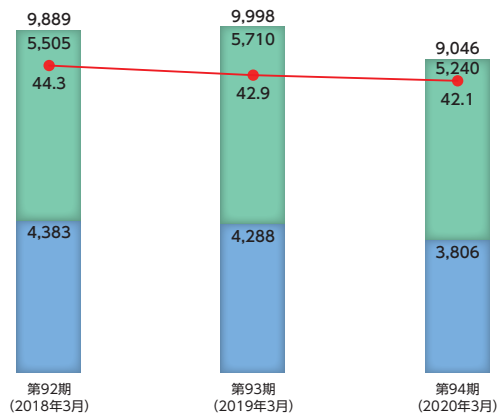
■ 焼肌チップ ■ 切削工具 ■ 耐摩耗工具 ■ その他



▶ (2) 海外売上高

(百万円)

■ 国内 ■ 海外 ● 海外比率 (%)



● 連結財務諸表（要旨）

■ 連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 2019年3月31日	当連結会計年度 2020年3月31日
① 資産の部		
流動資産	8,484,386	7,967,764
固定資産	8,679,510	9,104,293
有形固定資産	6,526,802	7,274,063
無形固定資産	78,724	105,733
投資その他の資産	2,073,983	1,724,496
資産合計	17,163,896	17,072,057
② 負債の部		
流動負債	4,714,748	4,462,623
固定負債	4,950,836	5,393,689
負債合計	9,665,584	9,856,312
③ 純資産の部		
株主資本	7,081,520	7,135,524
資本金	3,099,194	3,099,194
資本剰余金	1,703,329	1,703,329
利益剰余金	2,324,579	2,378,981
自己株式	△45,582	△45,980
その他の包括利益累計額	416,791	80,220
純資産合計	7,498,312	7,215,744
負債純資産合計	17,163,896	17,072,057

■ 連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	当連結会計年度 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
④ 売上高	9,998,993	9,046,377
売上原価	6,835,733	6,204,772
売上総利益	3,163,259	2,841,604
販売費及び一般管理費	2,710,484	2,628,010
⑤ 営業利益	452,775	213,594
営業外収益	169,344	108,953
営業外費用	83,750	85,675
⑤ 経常利益	538,368	236,872
特別利益	2,337	29,976
特別損失	48,736	19,490
税金等調整前当期純利益	491,969	247,357
法人税、住民税及び事業税	87,393	55,106
法人税等調整額	△2,662	33,810
当期純利益	407,238	158,441
⑤ 親会社株主に帰属する当期純利益	407,238	158,441

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	当連結会計年度 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,026,224	579,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,219,254	△1,071,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,924	69,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,016	△5,964
現金及び現金同等物の増減額	△339,970	△428,186
現金及び現金同等物の期首残高	2,026,444	1,686,474
現金及び現金同等物の当期末残高	1,686,474	1,258,287

【連結財務諸表（要旨）】ポイント

■ 連結貸借対照表

POINT① 資産の部⇒91百万円減少

【流動資産 516百万円減少】

現金及び預金428百万円、未収消費税等138百万円各減少

【固定資産 424百万円増加】

減価償却費の計上により973百万円減少、設備投資の実施1,808百万円増加、株価下落による投資有価証券の評価額408百万円減少。

POINT② 負債の部⇒190百万円増加

【流動負債 252百万円減少】

短期借入金386百万円増加、支払手形及び買掛金196百万円、電子記録債務367百万円各減少。

【固定負債 442百万円増加】

リース債務593百万円増加、長期借入金104百万円、退職給付にかかる負債45百万円各減少。

POINT③ 純資産の部⇒282百万円減少

【株主資本 54百万円増加】

親会社株主に帰属する当期純利益158百万円等による増加。

【その他の包括利益累計額 336百万円減少】

株式の時価評価等による減少。

■ 連結損益計算書

POINT④ 売上高⇒前年同期比9.5%減少

国内は同8.2%減少、海外は北米向けが同1.6%、欧州向けが同13.6%、アジア向けが13.1%各減少。海外売上比率は同0.8ポイント減少し、42.1%へ低下。

POINT⑤ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の減少により利益が大幅に減少

● 個別財務諸表（要旨）

■ 貸借対照表

（単位：千円）

	前 期 2019年3月31日	当 期 2020年3月31日
資産の部		
流動資産	7,878,835	7,315,729
固定資産	8,798,214	9,245,063
有形固定資産	6,523,354	7,265,317
無形固定資産	78,724	105,733
投資その他の資産	2,196,136	1,874,011
資産合計	16,677,050	16,560,792
負債の部		
流動負債	4,649,911	4,428,479
固定負債	4,929,133	5,329,052
負債合計	9,579,045	9,757,531
純資産の部		
株主資本	6,708,054	6,682,889
資本金	3,099,194	3,099,194
資本剰余金	1,703,329	1,703,329
利益剰余金	1,951,112	1,926,345
自己株式	△45,582	△45,980
評価・換算差額等	389,950	120,372
その他有価証券評価差額金	389,950	120,372
純資産合計	7,098,004	6,803,261
負債及び純資産合計	16,677,050	16,560,792

■ 損益計算書

（単位：千円）

	前 期 自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日	当 期 自 2019年4月 1日 至 2020年3月31日
売上高	9,443,355	8,516,513
売上原価	6,825,757	6,246,101
売上総利益	2,617,597	2,270,411
販売費及び一般管理費	2,290,162	2,183,620
営業利益	327,434	86,790
営業外収益	155,531	86,416
営業外費用	83,116	84,808
経常利益	399,849	88,398
特別利益	2,337	29,976
特別損失	48,736	19,490
税引前当期純利益	353,450	98,884
法人税、住民税及び事業税	46,000	24,400
法人税等調整額	3,434	△4,787
当期純利益	304,016	79,271

● トピックス

見本市

当事業年度におきましても、国内外の工作機械・機械工具関係の見本市に積極的に出展いたしました。

国内では、金型加工専門展「インターモールド2019」および機械部品・加工技術専門展「機械要素技術展」の他、中部地区最大の工作機械見本市「メカトロテックジャパン2019」においては来場者9万人以上と盛況のなか、お客様の加工改善につながる最新工具を出展いたしました。海外では、世界4大工作機械見本市の「EMOハノーバー2019」（ドイツ）等の金型・工作機械関連見本市に出展し海外市場での更なる販売拡大を図ってまいりました。

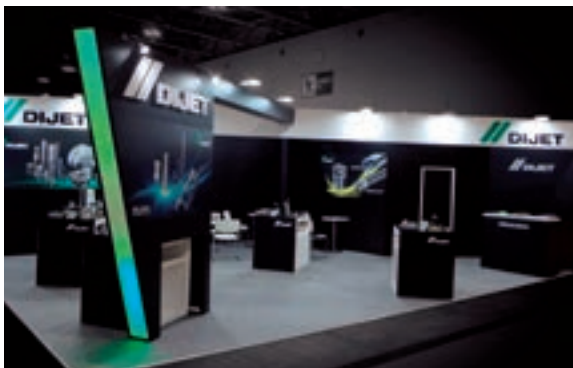
また、耐摩耗工具では「MF-TOKYO2019」（プレス・板金・フォーミング展）に初出展し、当社が注力しておりますレアメタル不使用の硬質金型新材料「サーメタル・CT500シリーズ」の新規業界での採用や用途開発に取り組みました。



インターモールド2019（東京）



機械要素技術展（名古屋）



メカトロテックジャパン2019（名古屋）

新製品

当事業年度におきましては、主力の金型加工用工具をはじめ注力しております高硬度材加工用工具など様々な新製品を発売いたしました。主な新製品は次の通りです。

■『5軸加工用工具シリーズ』

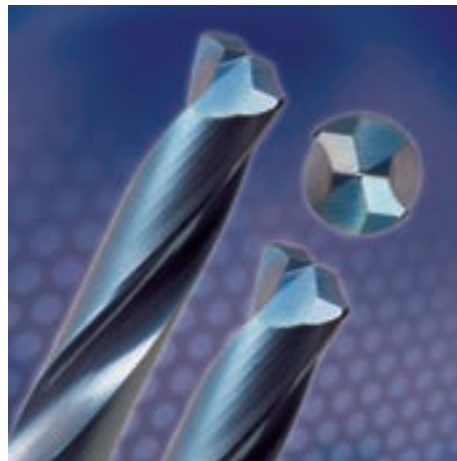
省段取り化による工程集約、複雑な形状加工や加工精度の向上ニーズの高まりにより今後ますます普及の進む5軸加工機での加工に特化した新シリーズ。多刃高能率加工用工具「高精度版QM マックス」に加え、新たにソリッドモジュラーヘッド「チューリップSヘッド」および高精度刃先交換式バレル工具「ミラーバレル」をラインナップ。



5軸加工用工具シリーズ

■『シグマドリル・ハードDHコート』

70HRC高硬度材の穴あけ加工が可能な高硬度材加工用ソリッドドリル「シグマドリル・ハード」に、新コーティング「DH1」コートを採用しリニューアル。耐熱性・耐摩耗性を向上させ、更なる加工能率と加工寿命向上を実現。



シグマドリル・ハードDHコート

● トピックス

環境・社会活動

当社は、地球環境の保全、汚染の予防を認識し、循環型社会の視点（3R:Reduce、Reuse、Recycle）に立った事業活動を展開し、環境保全に取り組んでおります。

当事業年度におきましては、ISO14001の取組みとして、「消費エネルギーの削減」、「化学物質リスクの低減」、「環境にやさしいものづくり」、「日常業務を通しての環境改善」、「廃棄物の管理及び削減」、「資源の有効利用」などをテーマとした中期3ヵ年計画（2019年度～2021年度）の開始年度であり、各部門・事業所ごとに目標達成に向けて年度目標を設定して取り組みました。

新製品開発においても、日本機械工具工業会が選定する「環境調和製品認定制度」に積極的に取り組み、本年度は製品3点の認定を受けております。

また、社員による地域美化運動にも取り組み、地域社会とのコミュニケーションを積極的に図っております。

当社では、今後も引き続き、より一層環境保全への継続的改善に積極的に取り組み、社会貢献に努めてまいります。



環境製品認定ラベル



地域美化運動（本社）

● 株式情報 (2020年3月31日現在)

■ 株式の状況

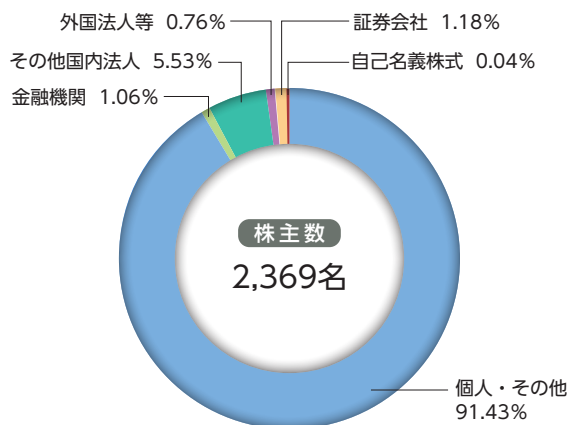
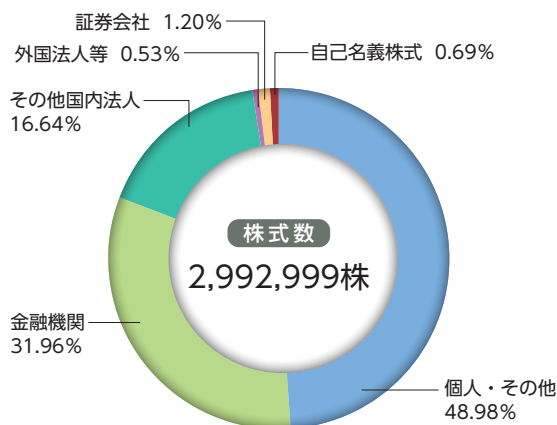
発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式の総数	2,992,999 株
株主数	2,369 名

■ 大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率 (%)
ダイジェット取引先持株会	186	6.28
ダイジェット持株会	170	5.73
株式会社 みずほ銀行	147	4.97
生 悦 住 望	133	4.48
株式会社 三菱UFJ銀行	124	4.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	108	3.63
シルバーロイ株式会社	90	3.03
明治安田生命保険相互会社	85	2.88
共栄火災海上保険株式会社	82	2.79
株式会社 不二越	70	2.36

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(20,725株)を控除して算出しております。

■ 株式の分布状況



● 会社情報 (2020年6月26日現在)

■ 会社の概要

社 名	ダイジェット工業株式会社 (DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.)
設 立	1950年12月
資 本 金	3,099,194,104円
従 業 員 数	496名 (うちパート等 91名)
事 業 内 容	超硬合金、超硬工具の製造販売



■ 役員の状況

代表取締役会長	い 生	け 悦	ずみ 住	のぞむ 望
代表取締役社長	い 生	け 悦	ずみ 住	あゆむ 歩
常 務 取 締 役	こ 古	ばやし 林	ゆう 雄	いち 一
取 締 役	なか 中	た 田	とし 敏	や 也
取 締 役	あん 安	どう 藤	のぶ 信	お 夫
取 締 役	まつ 松	もと 本	たい 泰	ぞう 三
取締役 (社外)	こ 小	しま 島	やす 康	ひで 秀
取締役 (社外)	ひら 平	い 井		みつる 満

ホームページのご案内



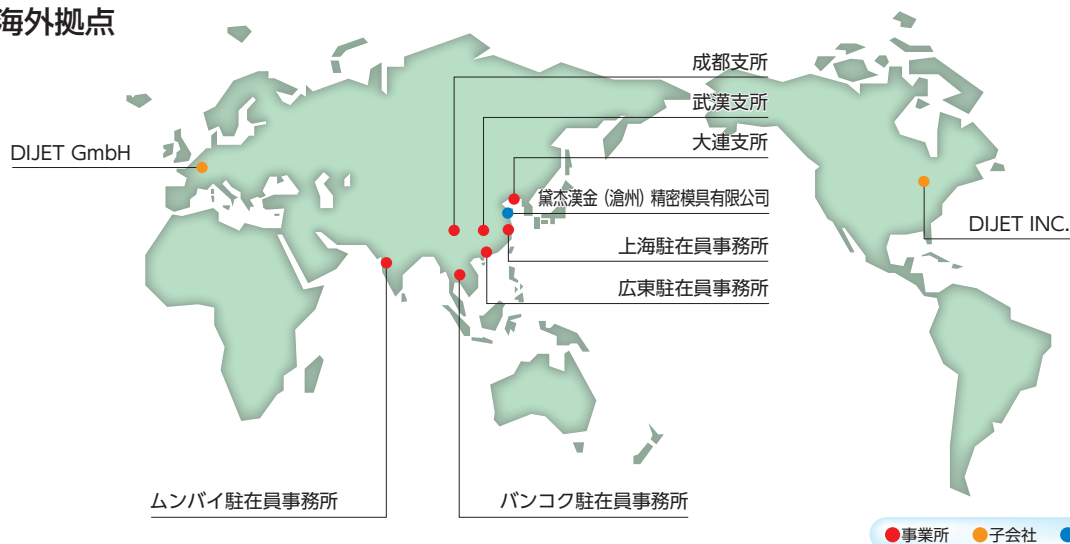
<https://www.dijet.co.jp/>

● 事業所および主な子会社（2020年6月26日現在）

■ 国内拠点



■ 海外拠点



● 事業所 ● 子会社 ● 関連会社

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当 3月31日
	中間配当 9月30日
	その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日

公告方法 電子公告 <https://www.dijet.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

**株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

**郵便物送付先
および連絡先** 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号 0120-288-324 (フリーダイヤル)

**〔株主に関する
各種お手续〕** 届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取・買増請求などにつきましては、口座開設されている証券会社（証券会社に口座開設されていない株主様は、上記の特別口座の口座管理機関（みずほ信託銀行株式会社）へお届ください。

なお、未受領配当金（ゆうちょ銀行の払渡期間経過後）のお支払いにつきましては、上記の株主名簿管理人（みずほ信託銀行株式会社）までお申出ください。

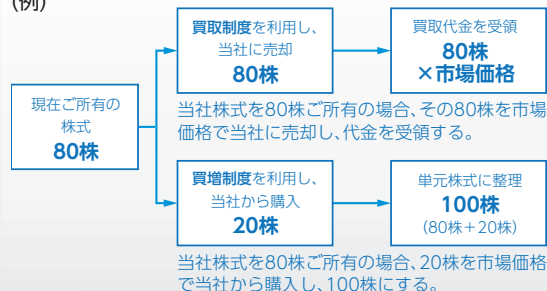
単元未満株式の買取・買増請求のご案内

当社の単元株式数は100株となっておりますので、100株未満の単元未満株式は市場で売買取ることができません。

単元未満株式をご所有の株主様は当社に対して単元未満株式を売却する（買取請求）、または単元株式となるよう不足する株数の株式を当社より購入する（買増請求）ことができます。

お申出先につきましては、左記の株主メモをご参照ください。

(例)



DIJET INDUSTRIAL CO., LTD.

〒547-0002

大阪市平野区加美東2丁目1番18号

TEL.06 (6791) 6781 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

この報告書は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。